

What's Cool

今泉 洋の



# What's Cool



テーマは何でも良いが、とにかく子供みたことを大人の人がマジでやってしまう。こういう点にかけてはアメリカ人は世界一と言ってもよい。そんな確信を一層強めてくれるのが、砂の城を作らせたナンパーワンと言われるテキサス州サウスパドル島の面々。なんでも全米向けのコマーシャルのモチーフになるくらいで、その楽しいな撮影の様子もきちんとウェブに収録されている。彼らが設けたこのウェブページでは、初心者向けのハウツーやツール、ベストな砂のお城の作り方やコンテストのオーガナイズの仕方などが親切に説明されているほか、全米の砂遊び好きな大人たちのコンベンションの様相も収められている。ちなみにこのサイト運営者の手による「砂のお城を作ろう」という本が日本でも出版されているらしいので、その気になった人はぜひ読んでみよう。まさに夏定番を控えて、楽しい浜遊びのお手本とも言えそうだ。

## 夏の風物詩 砂のお城に技を競う

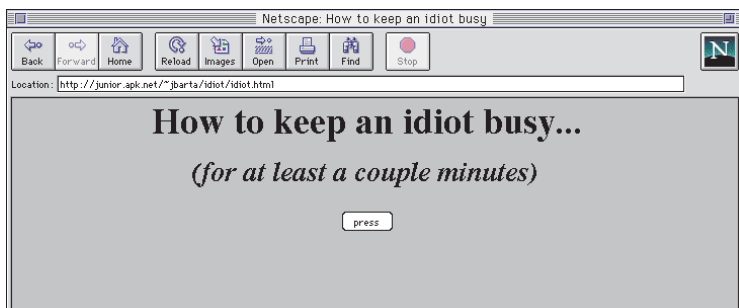
The South Padre Island Sons of the Beach Sandcastle Page

URL <http://www.unlitter.com/>



今回紹介したサイトガイドがリアルオーディオで聞ける!  
「What's Cool Radio」

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/radio/>



なにが起こるか クリックしたいこのボタン

How to keep an idiot busy

URL <http://junior.apk.net/~jbarba/idiot/idiot.html>

直訳すれば「お馬鹿を暇なしにする方法」である。では「どうやって?」となるのだが、それをここで書いてしまうとネ

タばれになってしまうのでバ。ス。ま、ともかく試してみてください。



コロラド名物 インターネット装備の究極のタクシー

The World Famous Ultimate Taxi

URL <http://www.ultimatetaxi.com/>



コロラド州デンバーのタクシー運転手ジョン・バーンズ氏のウェブ。まあ、どんな人がホームページを持ってもおかしくはないが、問題はその中身。

彼の運転するタクシーはアメリカのエローキャブとしては古典的な79年製のチェッカーだが、日本で言えば一世を風靡した電飾トラック野郎のタクシー版といったところで、その装備はハイテクガジェット満載。まずはレーザ

ー9本、ミニストロボ、ネオンスティック、ドライアイスを使った発煙装置、900ワットのオーディオ、ヤマハ製キーボード、デジタルドラム、コダックのデジカメ、パナソニックのデジタルビデオに東芝のラップトップ、そしてモデム等々。これで音楽スタジオ兼ナイトクラブ兼ブラネタリウム兼おもちゃ屋、そして地球唯一のインターネット接続されたタクシーの出来上がり、というわけである。

ウェブページにはこうしたシステムの紹介以外にも、キャブに乗車して盛り上がっている有名・無名人々の写真やトランクの中に設けられたハイテク装置駆動用のスペシャルバッテリー、お土産用のTシャツなどのガジェットも紹介されている。

IPアドレス装備という正統派ではないかもしれないが、これはこれで楽しくお仕事できるに違いない。





## パネルデザインから始まる新しいサンプリング楽器への挑戦？

M/B Interactive sound system 7x7

URL <http://38.248.229.6/ss7x7/>

一部で注目されているソフトシンセ「ReBirth RB-338」のように、発売前にベータ版がウェブで公開されるなど、テクノ系ミュージックギアとウェブの間には結構面白い関係がある。ニューヨークにあるM/B Interactive社のこのウェブもそうした観点からは是非注目したいページだ。

とは言っても、紹介されているのはすでにある楽器の機能を再現する音楽専用ソフトではなく、一見ショックウェアを使ったテクノガジェット。だが実は、サンプリングをベースとした新しい楽器をインターフェイスパネルのデザインをベースに作り上げようという試み、と見た。

あらかじめ用意されたテクノやジャングル、アンビエント系の曲を選択するRemoteはともかく、動画付きのショートクリップを楽しめるViewer、アンビエントサウンドとドラムパターンを選んで演奏、さらにそれを記録できるジャングルシンセJunglematic、世界のエスニックミュージックをチューニングしながら演奏していくGaiatron、マトリックスで自

然音を組み合わせる演奏できるNaturmaxなど、8種類のバーチャル電子映像楽器のデザインは次第にまったく新しい、どんどん遊べるタイプのソフト楽器へと展開していく。おそらくどれもハード専用機として商品化できないものではないが、そんなまどろっこしいことをやるよりウェブで公開してしまおうという斬新なアプローチには敬服。

またここからリンクされているページにはショックウェアを使ったクールな小作品が収録されていて、こちらのセンスにも要注目だ。

## M・アンドリーセン推薦のAnonymous Mailerってこれか？

Secret Admiree -- The Electronic Cupid

URL <http://www.SecretAdmiree.com/index.htm>

先月号の本誌インタビューに登場した時の人、ネットスケープ社のM・アンドリーセン。前代未聞のタイトで駆け足なインタビューだったが、唯一彼が一瞬考えこんだのが「最もエレガントなアプリケーションは？」という質問。その答えが「うーん、匿名メールがなあ」だったわけだが……そう言われても、なんのことだかええ？

そこで後から思いあつた

のがこのサービス。秘かに想いを寄せる人のメールアドレスを入力すると、システムは「誰かが想いを寄せてますよ。貴方も想っている人がいたらその人のメールアドレスを知らせてください」というメールを相手に出してくれる。もちろん、あなたの存在を相手に知らせることはない。もし相手があなたのメールアドレスをシステムに返してきた場合には、両者に「おめ

でどう」というメールが届く。が、それがあなた以外の人であれば、こんどはその人上と同様のメールが届く……といった具合。考えてみれば簡単な仕組みだが、なかなか目の付けどころがオシャレ……いや、エレガントか？

そういえばマーク君、ガールフレンドらしき女性を連れての来日だったみたいだが、ひょっとしてこれを使ってゲットしてたりして？



## ウソかホントか パナー広告の場所によるクリック効率をチェック

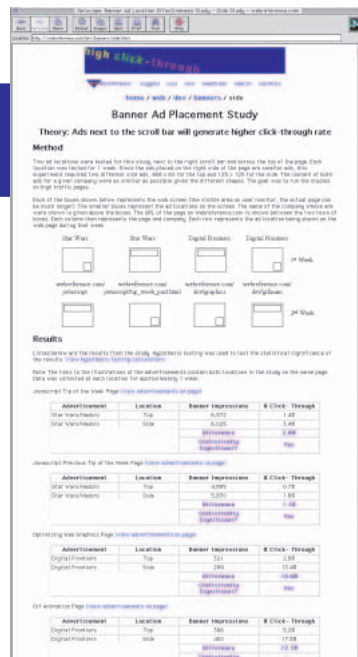
Banner Ad Location Effectiveness Study - webreference.com

URL <http://webreference.com/dev/banners/>

つい先頃、ウェブのパナー広告の有効性について報じた外電が日本のウェブビジネス関係者の間で話題になったことがあった。いわく「ページの右下のスクロールバーの箇所にある広告のクリックスルーレート(そのパナーがクリックされる率)はページのトップにあるものに比べて228%も高い」のだそうである。

しかし日本では、誰も目の前の仕事に忙しいのが「うーん、ホントかねえ」という疑問程度に終わってしまっただけで、その真偽のほどは分からないままに過ぎ去る.....かに思われたが、さすがにアメリカのウェブ関係者。外電で流れた調査結果にツッコミを入れたのがこのページだ。このウェブでは、上記のほかに、それぞれの調査結果に

ついての詳細が掲載されるとともに、個別のケースの調査結果の妥当性が細かく解説されている。少なくともウェブ広告関係者は一度は見ておいたほうがよいだろう。それにしてもマジにインターネットの広告を考えるんだったら、日本でもこういう実証的なアプローチは不可欠だと思いませんか？



ドメインネームをめぐる動きは新たなトップドメインの登場でますます騒がしくなってきた。そんななかで登場したのがトップドメインに「to」を使うというちょっとユニークなサービス。つまり「http://web.to/you」なんていうURLが(すでに取られてなければ)使えてしまうのである。「to」というのは南太平洋

に浮かぶ小島、トンガ王国のカントリードメイン名。「Tonic」はこのトップドメインの管理を行う企業で、なんとウェブ上でドメイン名の登録状況をチェックできるほか、もし未登録の場合はすぐに申請を受け付けてくれる。しかも初期登録費用に2年間のメンテナンスを含めて100ドル(その後は年間50ドルのメンテナンス料

がかかる)と「.com」並みの安さ。申し込みもクレジットカードを使って簡単にできるので、「.com」や他のめばしいトップドメインが取得できなかった企業経営者などには朗報か？

しかし、トンガ王国とインターネットという組み合わせ、なんとなく不安がなくもないが、それってサイバースペース上では偏見というもの？

## トンガ王国から朗報 100ドルで取得できるドメイン名登録サービス

Tonic - national domain name registry

URL <http://www.tonic.to/>

暗い少年時代を送った筆者(ウソ)の当時のささやかな楽しみ1つに、2冊の全然関係なさそうな本を同時に読むというのがあった。こうやると、どちらの本にも書いてない、なおかつどちらの本を読んだだけでは思い付かないアイデアが湧いてくるのである(これはホント)。

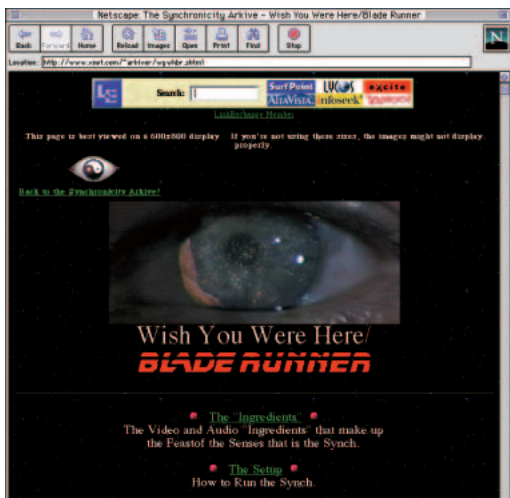
考えてみるとサンプリングという手法の妙味はこの辺にあるのではないかと再度

気づかせてくれたのたこのページ。要は映画のビデオと全然異種のCDを同時にかけると、時として絶妙なマッチングを見せることもある。これはそうしたサンプルをまとめたページである。

おすすめものとしては、名作「2001年宇宙の旅」や「オズの魔法使い」などとピンクフロイドの曲といった組み合わせ。これらをどのポイントで同期させて再生を開始すればベストなりザルトが

得られるかなどが詳しく解説されている。

なにか面白いことないかな~、と考えている人にはぜひ一度試してみることをおすすめする。余談だが、ページ表示とともに始まるピンクフロイドの曲のMIDI演奏がなかなかおかしい。

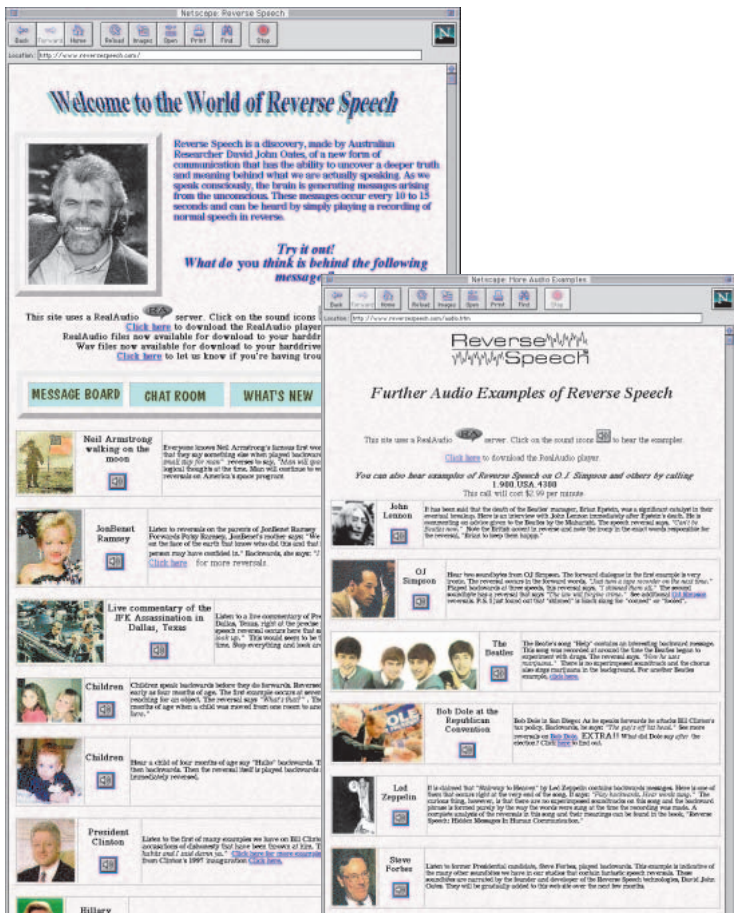


## シュールな楽しみ 思いがけない音と映像のマッチング

The Synchronicity Arki ve

URL <http://www.xnet.com/~arki ver/synchro.shtml>





## ネタに困ったワイドショー向け？ 逆転再生で真実が聞こえる

Reverse Speech  
URL: <http://www.reversespeech.com/>

「リバース・スピーチ」とはオーストラリア人研究者デビッド・ジョン・オーツ氏の発見。簡単に言えば「人間はしゃべっている時に無意識から湧き出るメッセージを織り込んでおり、10～15秒おきに出てくるこのメッセージはしゃべりを逆転再生することで簡単に聞くことができる」というもの。それによって我々は隠された真実や発言の裏の意味を知ることができる、んだそうである。

オーツ氏の経歴はチェックし忘れたが、アメリカではかのO・J・シン普森のリバーススピーチをダイヤルQ2で提供したり、書籍やテープレコーダーなども販売しているところをみると、なかなか売場人らしいし、

それはともかく、このサイトにはリバース・スピーチの実証事例として、人類初の月面歩行をしたニール・アームストロング飛行士の有名なひとこと、最近日本でも話題のジョン・

ネちゃんの母親パツィ・ラムゼイの記者会見、クリントン大統領、故ジョン・レノンなどのスピーチがリアルオーディオで収められている。また、彼の説の中でも面白いのは「子供はまともにしゃべり始める以前に逆向きにしゃべっている」という説で、そのサンプルも収録されている。

もちろんいずれの事例についても、逆転再生とともに彼らの無意識が何を言っているのかという解説も付いているのだが、英語が非母国語の私としては「そう言われればそう聞こえるかな～」といった程度。さらに、これが英語圏独特のものなのか、日本語圏にも適用できるのかは不明である。だが、最近子供ができた某社リアルオーディオ担当者(日本人)がぜひとも実験してみたいと意欲を示しているので結果報告に期待しよう。ただし親のひき目は割り引いて……。

世界中のニュースを24時間報道しているCNN。ニュース編成の視点がアメリカに偏っていると、突っ込みが浅い同じニュースがかなりの時間繰り返して放送されるという批判もあるが、とりあえず常識的なニュースをおさえておきたいという人には格好のレファレンスだ。そんなCNNニュースに加えて、100種類の雑誌などの素材の中から自分に関係ありそうなものをウェブ上に表示してくれるのがこのサービス。いわゆるカスタム・フィルタリングサービスである。

フィルタリングというと、関心領域の設定が複雑で面倒だったりするのが常だが、このサービスではあらかじめ6種類の

パターンが設けられていて、その中から選択することができる。もちろん、それでは満足できないというアナタのためにはフルカスタマイズも可能だ。

一般ネタにとどまらず、豊富なリソースをユーザー各々の関心に応じて編集し、表示してくれるより本格的なサービスとしては「Newbot (<http://www.newbot.com>)」やExciteの「Newstracker (<http://nt.excite.com>)」もあるが、シンプルな設定方法やフレンドリーなグラフィックという点ではこちらのほうが優れており、「面白そうだけど設定が面倒だから……」と敬遠していた人でも簡単に試してみることができそう。



## 設定簡単！ メンドくさがりやさんのためのニュースフィルター

CNN Custom News

URL: [http://customnews.cnn.com/news/pna\\_auth.welcome](http://customnews.cnn.com/news/pna_auth.welcome)



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)